

TriCCS観測データコピーマニュアル

ver. 20250728

川端美穂、村田勝寛、田口健太

ご不明な点などございましたら、上記担当者までご相談ください。

○現地観測の場合

以下のA)、B)の方法があります。**A)は常に許可します。B)はご自身の観測中、または、日中の観測がない時間帯のみ許可します。**

A) triccs-data サーバーからのコピー

1階サーバー室のtriccs-dataサーバーにご自身で持参したハードディスクを**triccs-user**アカウントでログインしてマウントしてください。初めてマウントする場合は、TriCCS現地運用担当の立会いを依頼してください。以下に3台のカメラの観測データが保存されています。ご自身で必要なデータをコピーしてください。

/home/triccs/data/YYYYMMDD

観測データは翌日正午までには上記にコピーされます。ただし、大量のデータが取得されている場合は、夕方まで時間がかかる場合があります。

また、観測室の装置LANからネットワーク越しにアクセスする(192.168.1.91)ことも可能です。装置LANケーブルは観測室の制御PCが置いてあるテーブルにあります。

B) triccs-master サーバーからのコピー

triccs-data サーバーへ観測データがコピーされる前にデータが必要な場合、triccs-masterサーバーからデータをコピーすることができます。

2階のtriccs-masterサーバーにご自身で持参したハードディスクをtriccsアカウントでログインしてマウントしてください。初めてマウントする場合は、TriCCS現地運用担当の立会いを依頼してください。データは以下のディレクトリから必要なものをコピーしてください。

CMOS0 (g band) /home/triccs/data/YYYYMMDD
CMOS1 (r band) /home/triccs/data-b/YYYYMMDD
CMOS2 (i/z band) /home/triccs/data-c/YYYYMMDD

また、観測室の装置LANからネットワーク越しにアクセスすることも可能です。装置LANケーブルは観測室の制御PCが置いてあるテーブルにあります。

以下に**triccs-master**に**CMOS0(gバンド)**、**triccs-slave0**に**CMOS1(rバンド)**、**triccs-slave1**に**CMOS2(i/zバンド)**の観測データが保存されています。ご自身で必要なデータをコピーしてください。

triccs-master (192.168.1.88; g band) /home/triccs/data/YMMDD
triccs-slave0 (192.168.1.89; r band) /home/triccs/data/YMMDD
triccs-slave1 (192.168.1.90; i/z band) /home/triccs/data/YMMDD

諸注意

- ・夜間の**triccs-master**、**triccs-slave0**、**triccs-slave1**からのデータコピーは**fits**生成の失敗を引き起こす可能性があります。特に高速撮像中は生成失敗のリスクが高いため禁止します。高速撮像以外もリスクがあることをご承知ください。
- ・データ保存のための外付けハードディスク等をご自身でご準備ください。Linuxでマウントできるext4などで**事前にフォーマットしてきてください**。
- ・データ量が莫大な場合はコピーに時間がかかりますので、天文台を離れる時間に間に合うように計画的にコピーするようにしてください。観測最終日に高速撮像がある方は、コピーが間に合わない場合があります。最終日が高速撮像の場合はTriCCS運用担当者まで事前にご相談ください。
- ・CMOS[0-2]のfitsは末尾[0-2]となっています。例えば、TRCS00453770.fitsはCMOS0、TRCS00453771.fitsはCMOS1、TRCS00453772.fitsはCMOS2のfitsです。

○リモート観測の場合

合計データ量が < 500GBの場合

USER_NAME@data.o.kwasan.kyoto-u.ac.jp:/triccs/YMMDD からコピーしてください。天文台外部からアクセス可能です。

観測データは翌日正午までには上記にコピーされます。ただし、大量のデータが取得されている場合は、夕方まで時間がかかる場合があります。

data.o.kwasan.kyoto-u.ac.jpのアカウント発行はTriCCS運用担当者へ連絡をしてください。

合計データ量が > 500GBの場合

国立天文台の共同利用観測者は、TriCCS運用担当者へ事前に連絡した上で、ハードディスクを郵送してください。担当者がデータをコピーし、ハードディスクを返送いたします。京都大学時間枠での観測者の方は、京都大学岡山天文台所属のスタッフや共同研究者など、身近な関係者にご相談ください。

OFAQ

Q) 現地観測ですが、data.o.kwasan.kyoto-u.ac.jpのアカウントを持ってるので、ネットワーク越しにコピーしてもいいですか？

A) <500GB以下の場合は大丈夫です。